

中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第8号
令和3年11月1日発行

学校教育目標
「なかよく かしく たくましく」

三つの約束
○あいさつ
○整理整頓
○時間を守る

1年生	45名	4年生	52名	
児	2年生	39名	5年生	41名
童	3年生	40名	6年生	57名
数	5組	6名	6組	2名
全校児童数	282			

上品さの中に熱く燃える子ども達的情熱

校長 仲田 智宏

先週、5・6年生が一泊二日で名栗げんきプラザに自然教室に行きました。例年は、5年生が夏季に林間学校として実施していますが、新型コロナウイルスの影響で昨年度は実施できませんでしたので、今年度二学年合同で宿泊体験をしたということです。

先に出発したのは5年生です。その出発に際し子ども達に伝えたことは、準備にしっかり取り組んできたのだから、ぜひ楽しんできて欲しいということでした。教室や体育館での活動を見に行くと、先生の話をよく聞いていました。グループでの話し合いでは、仲間に声をかけ合って協力していました。その成果が必ず現れると信じて送り出しました。

6年生は給食を食べてからお昼過ぎに出発しました。出発に際して6年生に伝えました。

「中富小自慢の6年生。4月から半年間の皆さんの成長には、目を見張るものがあります。登校班での下級生へのいたわり、縦割り活動、清掃時間の1年生教室のお手伝い、大成功させた運動会など素晴らしかったです。日々精一杯生活し、準備しながらついに今日の日を迎えました。楽しんでよい思い出をつくってください。いってらっしゃい。」

宿泊体験を有意義にするためには準備が必要です。この準備は、物の用意や活動の練習に加え、人とかかわりをイメージすることが含まれます。二日間とはいえ共同生活をするわけですから、「どのような行動や態度、発言が人を不快にさせてしまうか。どう判断し行動すべきか。」を、考えるよい機会となったはずです。5年生も6年生も、よく準備してきました。今回の学びが、ハラスメントを根絶したり人権意識を向上させたり、人として豊かに生きていくことへつながればよいと思います。

5年生と6年生を見送った後、1～4年生の下校を確認してから、夕飯からキャンプファイヤーの様子を見届けに行きました。げんきプラザに到着すると、駐車場でスタッフの方から声をかけられました。ヒノキのスプーン作りの講師の方から、「いい5年生ですね。」というお言葉を頂きました。これを聞いたとたんに、詳しい様子はわからなくても想像がつかしました。5年生たちの心の温かさが講師の先生に伝わったのではないかと。活動の様子については、ぜひ子どもから聞いてください。

げんきプラザでの食事は、給食と同じで皆前を向いて黙って食べるという形でした。この形式も普段から取り組んでいますので、宿泊先のルールに則りマナーよく食事をしていました。学校で見ているいつもの様子と変わらないはずですが、何となくいつもよりたくさん食べているように見えます。おしゃべりはしませんが笑みがこぼれていました。

キャンプファイヤーは、子ども達と先生達が力を合わせて創り上げました。ダンスありゲームありのたいへんな盛り上がりで、コロナ禍の制限中であつたせいか、ビッグイベントを観るかのようでした。皆大はしゃぎですが、そうした中に品のある出来栄えを感じました。ルールを守りながら人が交流しているところでしょうか。それとも、コロナ以前は歓声をあげたり歌ったりする場面を、振り付けや拍手など表現を工夫しているところでしょうか。何に心を打たれたか定かではありませんが、見る者をも感動させていたのは事実です。上品さの中に熱く燃える子ども達的情熱を確かに目の当たりにしました。

先月の運動会、社会科見学、おいも掘り、自然教室に続き、11月も行事が盛りだくさんです。その年齢のその時期にしか味わうことができない体験を大切に、豊かな心をはぐくんでほしいです。